

## きょうの米原高校(3月24日) 令和2年度終業式

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全校で集まって集会をする機会をもつことが難しい状態が続いていましたが、本日、最後の終業式を体育館で実施することができました。



1年生、2年生が体育館に入りましたが、体育館の扉は全開、学年ごとに時間を設定して入場、フィジカルディスタンスを保った状態での終業式です。

校長先生からはコロナ禍の中で始まった令和2年度をふり返ったお話しや、新聞に掲載された震災10年を迎えた福島の高校生の言葉の紹介からみなさんの成長につながるお言葉をいただきました。

2年6組の辻岡了真さんが朝日新聞社主催のJSEC(高校生高専生科学技術チャレンジ)の入賞し、表彰されました。



2年生理数科の課題研究発表の最優秀グループ、サイエンスプロジェクト、2年英語コースプレゼンテーションの最優秀グループの成果発表を全校の前で披露しました。

堂々とした研究発表で、1年生のみなさんにとっては来年に向けての自らの目標として刺激になったのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症はまだ収束をみせることはなく、これからもコロナ禍の新しい日常の中で学校生活は続いていきます。創意工夫と継続した対策で、来年度もさまざまな活動に意欲的に取り組んでほしいと思います。新たな年度を笑顔のみなさんにお会いできることを楽しみにしています。